

蒲郡市では、財政分析の資料として、国（総務省）が示した方法に沿って普通会計（*1）のバランスシートと行政コスト計算書を作成しています。今号では、平成16年度末現在の状況についてお知らせします。

（*1）普通会計の範囲は、一般会計、土地区画整理事業特別会計の一部および公共用地対策事業特別会計で、市の全体の会計とは異なります。

● バランスシート

▼ バランスシートとは

バランスシートとは、市の資産（建物や土地など）や負債（市の借金）などの状況を一覧表にまとめた報告書のことです。これを見ると、市が資産をどのくらい保有し、その資産を得るためにどのくらい国や県から補助金が交付されているか、借金をしているのか分かります。

【負債】について

資産を取得するため借り入れたもので、将来にわたり負担していかなければならないもの

負債総額は、390億円（市民1人当たり48万円）です。

固定負債には、平成18年度以降に返済する地方債の元金や退職手当などがあります。退職手当は年度末に全職員が普通退職した場合の退職金の総額です。

流動負債は、平成17年度中に返済する必要がある地方債の元金です。

負債のうち、地方債は固定負債、流動負債あわせ、333億円で負債全体の約85%を占めています。

道路、学校、市営住宅などの公共施設を整備する場合、多額の経費が必要となります。このため、現金で一度に支払いができないものは、地方債を発行することになります。

貸 方

（将来の市民負担）

負債 390億円

（うち地方債分 333億円）

①固定負債 369億円

②流動負債 21億円

（今までの市民負担）

正味資産 1,102億円

①国・県支出金 160億円

②一般財源等 942億円

「正味資産」について

資産形成のため、これまでの世代が負担してきたもので、将来返済する必要がないもの（資産と負債の差額）

正味資産総額は、千102億円（市民1人当たり135万円）です。

国・県支出金は、市が現在保有している資産のうち、国や県が負担した金額です。

一般財源等は、市が現在保有している資産のうち、市民が納めた市税などにより負担した金額です。

